

延藤さんの語りとサクスの音色が響きあった！！

縁奏会開催



幻燈師 延藤安弘さん



サクソ奏者
宮坂宏一さん

10月23日の夜、篠ノ井駅前のOrcheで行われた『まちの縁が輪 縁奏会』。長野で初めて開かれた音楽とまち育ての響きあう夕べは、延藤安弘さんのいつものгентーク(語りとスライド)に音楽が入るというコラボレーションです。地元篠ノ井の方だけでなく遠方からも延藤ファンや縁側人たちが駆けつけました。



開始はいきなりサクスの演奏で始まりました。これから何が始まるんだろうというワクワク感を呼び起こすようなジャズのテンポ。絵本「エンガワになったバス」でгентークが始まるとメロディーもちょっとゆったりしたテンポに変わりました。続いて岡崎市図書館交流プラザりぶらのお話です。市民参加による公共施設設計と居場所の育みという、市民と行政、市民と専門家が一体となって作った図書館の事例です。最後は、台湾都市原住民阿美族溪州部落のお話。スライドと延藤さんの語り、そして寄り添うようなサクスの音色が響き合っ、幻燈の世界に引き込まれていきました。

会場となった^{オケ}Orcheは、元信用金庫の空き店舗を食の円居マルジュウさんがコミュニティスペースとしてオープンされたカフェです。店内は、おしゃれな雑貨の販売コーナーとイベントスペースがあります。月1回「まちの教室」を開催しまち作りに関心のある人たちが集まっています。篠ノ井駅前の新たな居場所として注目間違いなしです。



かわらばん

まちえんがの

第17号

11月1日(火)

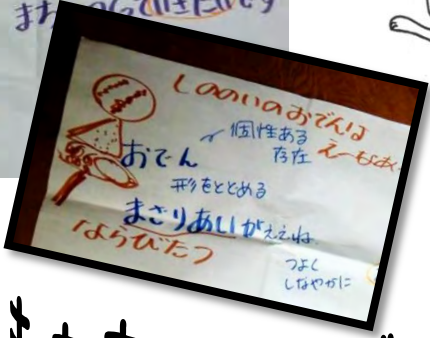
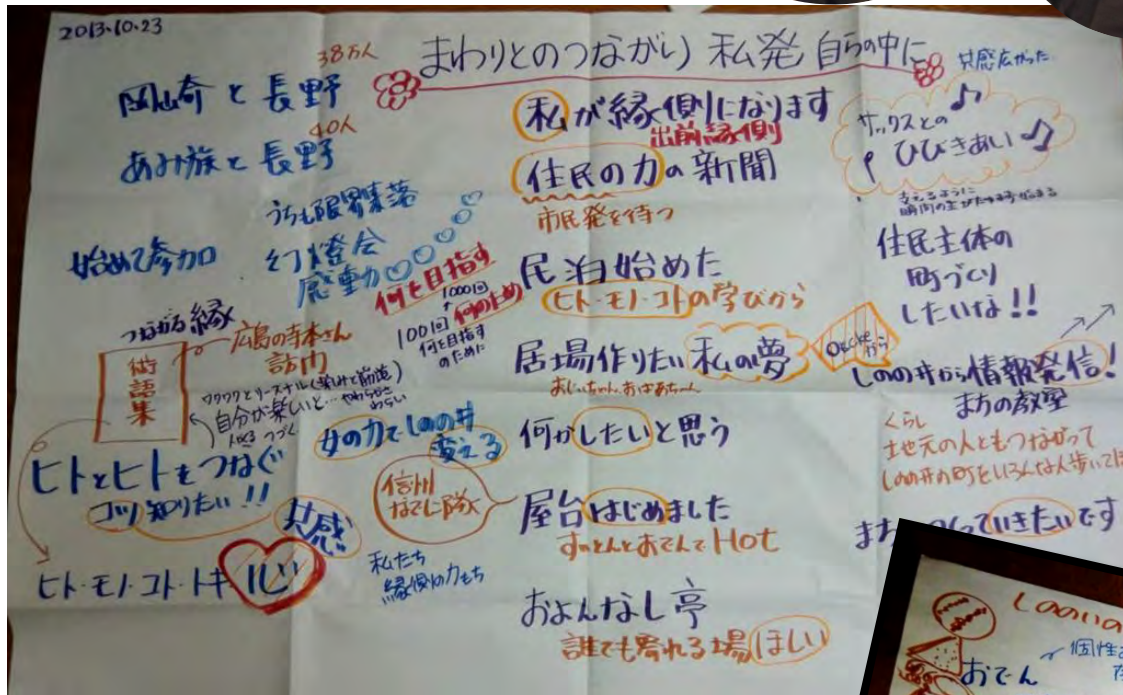
発行
まちの縁側育み
プロジェクトながの

長野市ボランティア
センター内
TEL 227-3707
FAX 224-1513



ヒト・モノ・コト・トキ + ココロ

幻燈会終了後、感想や縁側に対する思いを語り合いました。初めて参加して幻燈に感動した！サクスの響き合い最高！！など、参加されたみなさんの気持ちが盛り上がっていました。信里新聞の会の小林さんが、「私が縁側になります！」と熱く宣言すると、「居場所づくりをしたい」「できることで何かしたい」と他の参加者のやる気満々の発言。篠ノ井の信州なでしこ隊の柳原さんの「女の力で篠ノ井を変えたい」との言葉に Orche の久保田さんも「地元の人とつながって篠ノ井のまち作りをしていきたい」と続けました。縁側を育むヒト・モノ・コトにトキが重ねられ、そこには思いや共感するココロがあったのでした。



まち育てはおでんや！！

「ヒトとヒトをつなぐコツが知りたい」の質問に延藤さんは、「自分が楽しむこと、自分がたのしんでやるとヒトが来る、続く、楽しさは、柔らかさ、ワクワク&リーズナブルですネ。この本、まち再生の術語集の中に書いてあります。お読みください。」と、ユーモア交えたお答えに、会場から笑いがおこりました。「まち再生の術語集」には、まち育てのヒントが満載です。この本の出版記念として開かれた縁奏会、参加された皆さんの力強い発言に、長野のまちの縁側がもっと面白くなる予感がしました。

つばやき
いろいろなヒトの縁
で縁奏会を開くこと
ができました。
サクスを快く引き
受けてくださった宮
坂さん、会場を貸して
くださった久保田さ
ん、そして当日参加
してくださった皆さん、
ありがとうございました。
N



連絡先
<026>
227
3707
(担当 西沢)
vc106@vnetnagano.or.jp

まちの縁側育みプロジェクトながのでは、まちの縁側を伝え広める活動を行っています。地域に Outreach 縁側の紹介や研修を行っています。縁側に関心のある方は、ご一報ください。